

## 紹介状をお持ちください

箕面市では、お近くの診療所と市立病院が一体となって患者さまが安心して治療を受けていただける体制を整えています。まずはお近くのかかりつけ医を受診していただき、かかりつけ医が当院での検査や治療が必要と判断された場合に、紹介状を作成し、当院に引き継ぎます。

紹介状をお持ちいただくことにより、すみやかに病状を把握することができ、薬や検査の重複も避けることができます。

なお、紹介状をお持ちでない場合は、診察料に加え、初診料加算金(現在は3,300円※)をご負担いただきます。ご理解とご協力をお願いします。

※4月1日からは診療報酬改定により、5,500円に変更になります。

■整形外科、耳鼻いんこう科、リハビリテーション科は完全紹介・予約制のため紹介状が必要となります。

■分娩をご希望の際は、紹介状は不要で初診料加算金もかかりません。

■お問い合わせ 医療事務室(電話 072-728-2001)

## みなさまからのご支援をお願いします

地域医療の推進のため、新しい病院建設のため、箕面市立病院を応援していただくためのご寄附をお願いします。

これまでも多くのかたからご寄附をいただき、院内設備や医療機器の整備などを通じて、有効に活用させていただきました。

ご寄附いただく場合は、市の「みんなの箕面の緑の寄附金(箕面市ふるさと寄附金)」でお申込みください。



※ふるさと寄附金をかけた寄附の強要や詐欺行為などには十分ご注意ください。

※箕面市民の寄附については、返礼品はありません。

■お問い合わせ 病院経営室(電話 072-728-2034)

## 生活習慣病と診断された患者さまへ

### 栄養指導を受けてみませんか！かかりつけ医を通じてご予約ができます

「生活習慣病」と診断された際、毎日のお食事でのことに気がつけたりよいか悩まれることが多いのではないのでしょうか。

当院では、「糖尿病(腎症)」「腎臓病」「脂質異常症」などの「生活習慣病」と診断された患者さまを対象に、管理栄養士による栄養指導を実施してい

ます。その内容は、かかりつけ医からの依頼を受けた当院医師が患者さまを診察します。その後、管理栄養士が患者さまの病状や環境に応じ、具体的にご説明するもので、患者さま一人ひとりに寄り添った栄養指導です。かかりつけ医を通じてご予約ください。

■内容：内科医による診察、管理栄養士による食事量や食品の選び方などの栄養指導

■かかりつけ医から当院地域医療室へご連絡ください。

■保険診療のため、費用の一部負担があります。(2,500円程度)

■お問い合わせ 地域医療室  
(電話 072-728-2177 FAX 072-728-8475)



実施日時	月	火	水	木	金
9:30~11:00	×	○	○	○	○
13:30~16:00	○	×	×	×	○

こちらも、ご覧ください！リアルタイムな情報が満載！箕面市立病院HP



## 箕面市立病院だより

2020.3 Vol.35

<https://minoh-hp.jp>

編集発行：箕面市立病院 事務局病院経営室 ☎072-728-2001



## 特集：ご存じですか？乳がんについて

### あなたの健康づくりをサポートします

当院では、さまざまな病気への対応や予防などについて、各診療科の専門医をはじめとする医療スタッフがみなさまにわかりやすくお伝えする「市民医療講座」や、テーマにあわせて健康チェックやアドバイスをするイベントを開催しています。

#### ●医療・看護フェア

毎年5月に、「看護の日」(5月12日)にちなみ開催しています。当日は、当院の医師やスタッフによる講演とともに、救急蘇生の実演や大阪青山大学のご協力による栄養指導など、2日間にわたり、みなさまの健康増進や医療について、相談や体験して、学んでいただく機会を提供しています。なお、令和2年度は5月14日・15日に開催します。

#### ●世界糖尿病デー・箕面

「世界糖尿病デー」(11月14日)をご存じでしょうか。毎年、その日にあわせて開催しております。看護師による血糖値の測定コーナーや毎日の食事を管理栄養士にチェックしてもらうコーナーなど、現在の健康状態を確認していただけます。

#### ●市民医療講座

令和元年度は「認知症」や「脳卒中リハビリ」など、さまざまなテーマで、7回開催しました。このうち、昨年11月17日には、「箕面がん医療フォーラム」と題し、「がん」をテーマに1日にわたって開催しました。医師や医療スタッフによる病気や薬、口腔ケア、緩和ケアなどの講演のほか、知って得するミニセミナーでは食事やリハビリなど、また、お金に関する相談コーナーや医療用のウィッグの体験など、いろいろな角度から「がん」について、約130人のかたに学んでいただきました。

「市民医療講座」は、今後も開催しますので、市広報紙「もみじだより」や当院のホームページでご確認ください。

今後もみなさまに身近なテーマで各種イベントや市民医療講座を開催します。ぜひご参加ください。



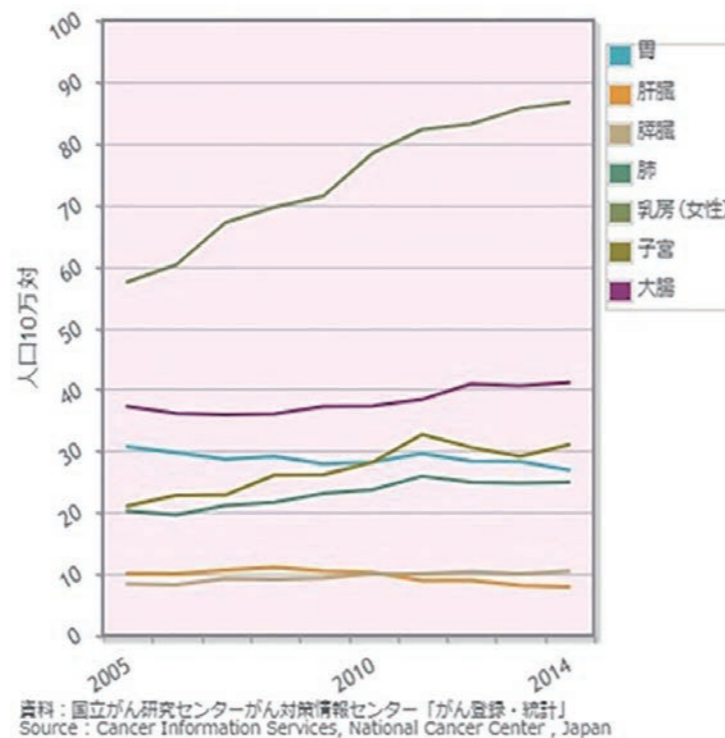
## ご存じですか？乳がんについて

「がん」がまれな病気ではなくなってきた現代。日本人女性に特に増えてきたのが「乳がん」です。「乳がん」とはどんな病気なのか、どのような治療方法が

あるのか、また、当院の乳腺外科についてもご紹介します。

### 乳がんの増加

日本では、乳がんの罹患率が年々増加しています。国立がん研究センターがん対策情報センターの統計によると、女性のがんとしてはもっとも頻度が高く、生涯に罹患する確率は11人に1人とされています。死亡率は罹患率の約1/5を推移しています。



### 乳がんの治療

乳がんの治療としては、「手術」のみならず「化学療法」「ホルモン療法」「放射線療法」と様々な方法が確立されており、状態に応じて適切な治療を行えば十分に根治が望める「がん」でもあります。したがって、ご自身でのチェックや自治体が行う乳がん検診を受診することが重要です。

なお、箕面市では40歳以上の女性で、偶数年齢のかたを対象に年1回（4月から翌年3月までの間に1回）無料で乳がん検診を実施しています。

### 乳房の症状

気になる乳房の症状として、「シコリ」や「乳頭からの分泌」などがあります。

乳房のシコリは良性の疾患（「のう胞」「線維腺腫」「乳頭腫」）であることもあれば、「乳がん」であることもあります。一般的には若い女性であるほど、良性の可能性が高くなります。シコリがあるならば、診断をはっきりさせる必要がありますので、必ず専門医を受診してください。

なお、乳房の痛みについては、ほとんどがホルモンの

変動によるものであり、特に危険な症状とはいえません。

また、乳頭からの分泌は、血の混じった分泌であれば、「乳がん」あるいは良性腫瘍の「乳管内乳頭腫」を考える必要がありますので、専門医への受診が必要です。血の混じっていない少量の分泌は、生理的現象としても起こりえますので、まず問題ありません。

以上のように、乳房に症状がある人のすべてが治療を要するわけではありませんが、これらの症状でお悩みであれば、乳腺外科を受診してください。

### 乳がんと日常生活など

乳がんは様々な生活や環境に関連することが分かっています。たとえば、授乳、運動でリスクが下がり、肥満、糖尿病、飲酒、喫煙でリスクが上がるとされています。

また、特定の食品に関しては、大豆や乳製品や糖質などを過度に気にされるかたが多いですが、はっきりと関

連性が証明されたものはありません。

しかし、血縁者に乳がんのかたがいるとリスクは上がります。例えば、第1度近親者（親、姉妹、子）に乳がん患者がいる場合は、いない人の約2倍のリスクがあるといわれています。

## 当院での診療について

当院の乳腺外科では、まず問診と視触診を行い、当日のうちにマンモグラフィや超音波検査を行います。この検査で良性か悪性かの判断はある程度は可能です。そのうえで、必要であれば、穿刺吸引細胞診、乳房MRI、組

織生検を行い、診断を確定させることになります。

なお、検査によっては、結果が判明するまでに1週間程度かかるものがあります。



乳房超音波検査



マンモグラフィ

### 乳がんと診断されたら

乳がんの初期治療は、「局所療法（手術・放射線療法）」、「全身療法（化学療法・抗HER2療法・ホルモン療法）」にわかれます。「手術だけおしまい」ではなく、2つの療法を組み合わせ、根治を目指した治療を行います。また、全身療法は、症状によっては手術の前に行うこともあります。

#### 《局所療法》

「手術」は全身麻酔で行い、約5～10日の入院を要し、「放射線療法」は原則的に手術の後に行います。なお、乳房温存手術の場合は放射線療法を必ず実施します

が、乳房切除術の場合はリンパ節転移の有無によって放射線療法を実施しないこともあります。

#### 《全身療法》

「化学療法」は手術前後に行いますが、約3～6ヶ月を要します。原則として入院は不要であり、外来治療センターで行います。「ホルモン療法」は、「手術」と「化学療法」の後に行い、5～10年を要します。

このように、乳がんは手術の後も長い経過の治療と観察が必要です。

### 当院での乳がん治療

当院乳腺外科は、昨年4月より専門医2名体制に拡充しました。それにあわせて診療受付時間を月・水曜日の午前8時30分から午後4時までとし、ご本人からお電話でご予約をいただけるようにしました。

【予約専用電話（平日8:45～17:00）072-728-2013】  
（ただし、紹介状がない場合は、初診料加算金（現在は3,300円※）が別途必要となります。）※令和2年4月1日からは診療報酬改定により、5,500円に変更になります。

また、当院では、「形成外科との共同による乳房再建術」「緩和ケア認定看護師によるがん相談」など、診療科だけでなく、チームで患者さまに寄り添った診療を進めています。当院は、総合病院であるため、持病をお持ちのかたでも、安心して治療を受けていただくことができます。



「乳房になにか症状がある」「検診で異常を指摘された」場合は、どうぞお気軽に当院を受診してください。